

健康教育の推進

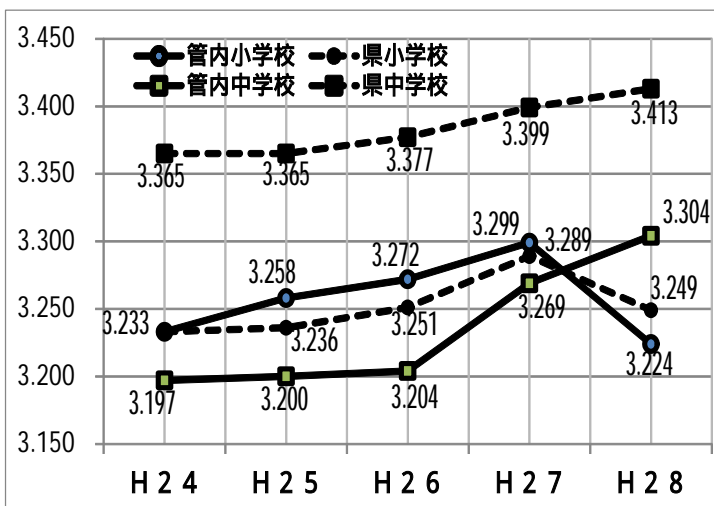
1 児童生徒の体力の向上

本管内の体力の状況は、各学校の取組が成果を上げ、近年向上傾向にありましたが、本年度は、小学校で急激に低下しています。一方、中学校では向上を維持し、県平均は下回るものの、その差が徐々に減少しています。(下図参照)

4月の熊本地震による児童の身体活動量の著しい低下が小学校のマイナス要因の1つとして考えられますが、児童生徒の心と体の健康を考えると、より一層の取組推進が重要になることは言うまでもありません。

本年度の「上益城体力向上プロジェクト」では、「学校総体としての取組」を第1に掲げ、併せて、「体育・保健体育授業の工夫改善」に引き続き取り組んでいただきました。

【総合評価値での県平均比較(年次推移)】



総合評価値とは、個人の判定結果A～Eにそれぞれ5～1の点数を付け、平均を算出した数値

(1) 授業は改善されているか

授業の工夫改善では、授業の進め方に沿って、

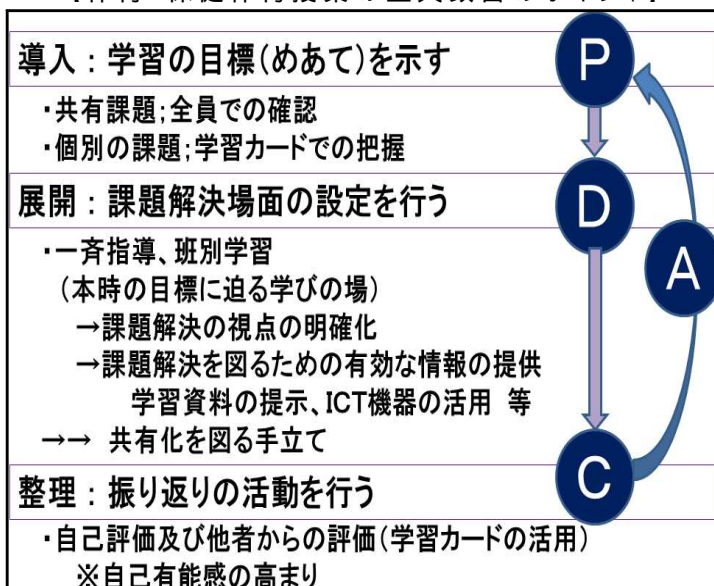
導入で学習のめあてを示す
課題解決情報を示す
(場面設定と教え合いの活性化)
終末に振り返りの活動を行う

ことをポイントとして提示しています。また、児童生徒が見通しを持って学習を進めることができるよう「単元の指導計画の提示」、学習状況を見取り、児童生徒の学びのPDCAサイクルを確立するための「学習カードの活用」を併せて提示

しました。(右図参照)各学校での取組状況はいかがでしょうか。

指導課関係実態調査(H28.12実施)では、「めあての提示と振り返りの実施」は、小・中学校ともに100%、「学習カードの活用」は、小学校で98%、中学校は、100%の実施率でした。

【体育・保健体育授業の工夫改善のポイント】



一方、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童生徒質問紙によると、右表のような結果となっており、教師と児童生徒の意識の差が見えてきました。今後は、児童生徒に意識化させるような明確な提示の方法等を工夫するとともに、毎時間の継続的な取組が重要であると言えます。

【体育・保健体育授業に関する児童生徒質問紙調査】

(単位は全てパーセント)

		小5男	小5女	中2男	中2女
授業は楽しい (楽しい+やや)	全国	94.5	91.0	88.2	82.5
	熊本県	95.7	92.2	88.9	82.2
	上益城	96.8	93.6	84.9	80.2
目標が示される (いつも+ときどき)	全国	82.1	83.0	84.5	82.7
	熊本県	82.7	81.9	84.6	82.5
	上益城	80.5	85.4	82.0	84.1
振り返りを行う (いつも+ときどき)	全国	63.9	64.9	70.8	71.4
	熊本県	66.2	66.2	69.5	68.1
	上益城	72.6	73.0	62.5	66.3
助け合いを行う (いつも+ときどき)	全国	84.5	88.1	82.7	86.6
	熊本県	84.3	86.9	82.2	84.9
	上益城	82.7	88.8	80.9	84.3
話し合いを行う (いつも+ときどき)	全国	82.9	83.0	80.6	81.0
	熊本県	83.6	82.8	79.4	78.1
	上益城	84.4	86.3	79.9	77.0

(2) 実践例

上益城小体研の取組 (広安西小学校 : 竹田直樹教諭、宮本智子教諭)

課題解決を図るために積極的指導を行う

児童生徒が主体的に活動する課題解決場面にあっても教師の積極的な指導が行われなければなりません。竹田教諭の実践では、課題が見られるグループに対してICTを活用して動きを視覚化し、児童の気付きを引き出してよい動きへつなげる工夫がありました。



ICTを活用した積極的指導

終末に振り返りの活動を行う

振り返りの活動は、児童生徒が本時の成果を確認し合い、自己有能感を高め、次時への目標を持たせるために必要です。宮本教諭の実践では、できたことを実際に行わせて発表させることで、成果の確認とともに動きの共有化を図る取組がなされていました。



できたことの発表(よい動きの共有化)

体力向上推進実践校の取組 (御船町立御船中学校 : 倉岡武教諭)

課題解決を図るための情報を示す

児童生徒が課題解決を図るためには、有効な情報が示されなくてはなりません。倉岡教諭の実践では、動きが具体的に捉えられるように写真を掲示するとともに、生徒の教え合いの言葉となるように動きと対応したキーワードが示されました。



技能ポイントの視覚化・言語化

目標に迫るために言語活動を充実させる

言語活動の充実は、本時の目標に迫るための学びとして重要な役割を果たします。倉岡教諭の実践では、互いに考えを伝え合うことができるように、作戦板(ホワイトボード)を使い、具体物として磁石を動かしながら、生徒が動きを確かめる工夫がありました。



言語活動を充実させる具体物